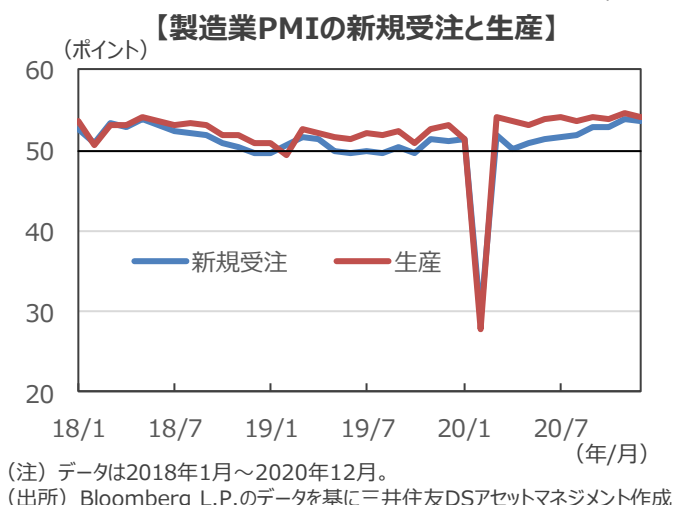
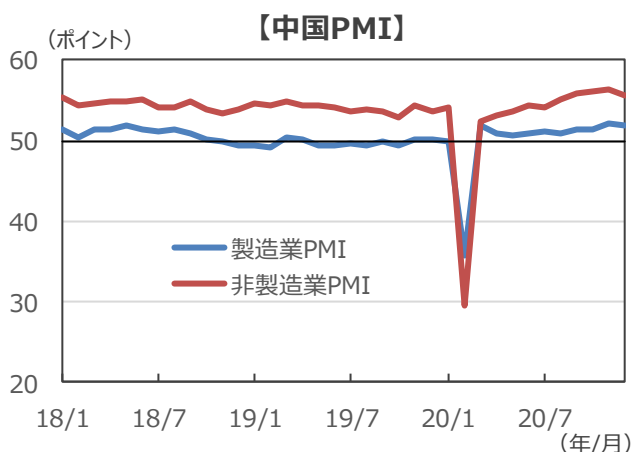


今日のトピック 中国PMI、製造業の回復基調は継続
12月のPMIは小幅低下ながら、高水準を維持
**ポイント1 12月の製造業PMIは51.9
10カ月連続で節目の50超え**

- 中国国家统计局が発表した20年12月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は51.9となり、前月から0.2ポイント低下したものの、景気の拡大・縮小を判断する節目の50を10カ月連続で上回りました。製造業PMIは、中国景気の回復と海外景気の持ち直しを背景に、全体的に安定した回復を続けています。
- 一方、12月の非製造業PMIは55.7となり、5カ月ぶりに前月を下回りました。小規模なコロナ感染発生で外食などの需要が弱含んだ影響とみられます。

**ポイント2 生産、新規受注とも高水準
新規輸出受注が回復傾向**

- 製造業PMIの内訳をみると、主要な構成指数である生産と新規受注は前月から小幅に低下したものの、依然として高い水準を維持しました。コロナショック後、政府の景気対策で大きく上昇した生産（供給）に対し、需要を反映する新規受注が徐々に追いつく形となっています。
- 新規受注のうち、輸出に限った新規受注は51.3と、4カ月連続で50を上回りました。経済活動の再開に伴い海外景気が回復してきていることが反映されているとみられます。


今後の展開 中国のGDP成長率は20年+2.2%、21年+8.9%と予想

- 12月のPMIは小幅に低下したものの、中国国内外の需要の増加により、製造業の回復基調は継続していると判断されます。新型コロナウイルスの感染拡大をほぼ抑え込んだ中国経済は、20年に主要国で唯一プラス成長を確保し、21年はさらに力強く成長する見通しです。弊社は中国の実質GDP成長率（前年比）を20年が+2.2%、21年は+8.9%と予想しています。

**ここもチェック! 2020年12月22日 アジア・トーク「中国の独占禁止法強化の背景と影響」
2020年12月16日 中国経済の回復ペースは加速**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。